

# 満開の桜の下 祝う

## 滝山城跡「続日本100名城」に



日本城郭協会が六日に発表した「続日本100名城」に選ばれた八王子市の滝山城跡で八日、「滝山城跡桜まつり」が開かれた。滝山城跡文化協会と地元のか住地区町会・自治会連合会が地域を盛り上げようと主催し、今回で五十二回目。訪れた市民らが見ごろを迎えた桜を楽しみながら、名城選定を祝った。

(萩原誠)

### 八王子でまつり

滝山城跡にはソメイヨシノなどの桜が植えられている。中の丸広場では地元小中学生による少林寺拳法の演武、住民らによる舞踊や歌などが披露された。甲冑



①桜の下を行列する甲冑隊  
②ステージでは少林寺拳法の演武などが披露された。いずれも八王子市で

### 少林寺拳法の演武や甲冑武者行列

武者行列や火縄銃の発砲などもあり、名城選定後初のまつりを盛り上げた。市教委などによると、滝山城は一五二一年に武蔵国守護代の大石定重が築城したとされる。その後、北条氏康の支配下に入り、氏康の子である氏照の居城になった。武田信玄などから猛攻を受け、氏照は領地の備えをより固めるため約九キロ、南北の地に八王子城を築き、拠点を移した。移転の時期は定かではないが、八〇年代とされている。

日本城郭協会は二〇〇六年に「日本100名城」を発表し、八王子城が選ばれた。協会五十周年事業として新たに選定した「続日本100名城」で滝山城が加わり、市内の名城は二つになった。滝山城は歴史的経緯のほか、堀などの遺構が良好な状態で価値が高いと評価されたという。

滝山城跡文化協会の高橋清一会長(モ)は「保全活動に携わった多くの人たちの努力が実った」と喜ぶ。草刈りやボランティアガイ

ド、甲冑隊の再現などに取り組む滝山城跡群・自然と歴史を守る会の尾熊治郎理事長(モ)は「今後も保存・活用に向けて地域が盛り上がり、みんなが誇りに思う城跡になるお手伝いをしたい」と話す。石森孝志市長は「市の歴史を知る貴重な文化遺産で、これからも史跡の保護、活用に積極的に取り組む」とコメントした。